

デザイン工学部 建築・環境デザイン学科

【教育目標】

建築・環境デザイン学科は、都市環境、建築、インテリア、クラフト、プロダクトのデザイン専門分野において、美・アメニティ・機能を備える持続可能な環境・空間・モノを創出する実務的な「デザイナー」の養成を図るため、以下の教育目標を掲げる。

1. 環境・空間・モノをデザインするための基礎となる、論理的思考力、多面的造形力、問題解決能力、豊かな感性、コミュニケーション・スキルを養う。
2. デザイン言語を習得する。
3. CAD・CGを含む情報リテラシーを養う。
4. デザイナーとしての基礎力を多様な分野において応用できる能力を養う。

【ディプロマ・ポリシー】

建築・環境デザイン学科では、都市環境、建築、インテリア、クラフト、プロダクトの各々の専門分野において、美・アメニティ・機能を備える環境・空間・モノの創造を担う実務的なデザイナーを養成していくという教育目標に基づき、以下の知識・能力を身に付け、かつ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

1. 美・アメニティ・機能を備える持続可能な環境・空間・モノを創出するデザイナーとしての基礎的な論理的思考能力、多面的造形力、確かな技術力を身につけている。
2. デザイン言語、CAD・CGを含む情報リテラシーを習得している。
3. 生活環境に対しての豊かな感性を身につけている。
4. 人を取り巻く環境に関わる課題発見・問題解決能力を身につけている。
5. 社会や人とのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけている。
6. デザイナーとしての基礎力を多様な分野に応用・展開することができ、広く社会に貢献できる力を身につけている。

【カリキュラム・ポリシー】

「専門教育科目」では、講義科目によって知識を与え、PBL（Practice Based Learning、実践ベース学習）すなわち演習科目によって実践的な技術力・デザイン力を養成します。そのため、コース間の差異に留意しながら、両科目群の有機的連携、および、年次間の有機的連携を保つべく科目内容を構成しています。また、キャリア教育は演習科目内で行っています。

1、2年次では専攻コースに分かれず、段階的にデザインの各問題群に触れながら学生自らがテーマや問題を発見すると同時に、デザインの基礎となる造形的思考とコンピュータリテラシーを学び、専門分野を理解する上での必要な素養を修得します。またグループによる制作や調査によって協働する力、デザインの方法論を学びます。

3年次で専門コースを選択し、環境・社会・資源問題や、ライフスタイルの変化に即応するものづくりに必要となる専門的知識・デザイン創出に必要なリテラシーを、専門分野を通して学びます。

4年次では専門コースで学んだ技術や知識を総合して、人・もの・空間の本質的な関わりを追求し、新たな文化や社会的価値をもたらすデザインを具現化する能力を習得します。

なお資格に関しては、1級建築士および2級・木造建築士受験資格等、高等教育教諭一種免許状（工業、工芸、美術）および中学校教諭一種免許状（美術）の取得に対応した教育課程を編成しています。

【アドミッション・ポリシー】

建築・環境デザイン学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。入学者選抜にあたっては志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

（求める学生像）

1. 幅広い学びの分野、デザイン分野から自分にあった分野を見出すことのできる自主性を持っている。
2. 創造力・表現力・知識・感性を豊かにすることに対して積極的に取り組む姿勢がある。
3. 社会や環境に対して問題意識を持ち、あらゆる事柄に対する興味・好奇心を抱くことができる。

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型 選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜		編入学
	A O	クラブ	指定校推薦	特別推薦 (系列校)	公募推薦	一般 ※ ₁	大学入学共 通テスト (利用・ プラス方式)	資格取得者 特別等 ※ ₂	社会人、 留学生 ※ ₃	
1	◎		○	◎				○		◎
2	◎	○		◎	○	○	○	◎	◎	◎
3	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力利用入試があります。

改 正 2021年4月28日